

各地域のめざす方向性

本市の10の地域（中央、横曽根、青木、南平、新郷、神根、芝、安行、戸塚、鳩ヶ谷）ごとに特徴をとらえ、地域の実情に即したまちづくりの方向性を示すものです。

神根地域

地域の人口はやや減少すると見込まれます。緑や水辺環境、農地と共生したうるおいある生活空間を生み出すとともに、自然資源や歴史資源を活かした拠点施設を活用し、人々の交流が盛んでにぎわいのあるまちをめざします。

戸塚地域

地域の人口はやや増加からほぼ横ばいで推移すると見込まれます。豊かな水と緑が調和した住環境の創出を図りながら、鉄道駅を中心とした拠点整備を進め、本市の「北の玄関口」として、にぎわいと交流のあるまちをめざします。

安行地域

地域の人口はほぼ横ばいで推移すると見込まれます。「植木の里・安行」の伝統を継承するとともに、緑化産業の集積・発信を行い、魅力的で豊かな緑の地域資源を活かすとともに、住環境と自然が調和した安全で快適なまちをめざします。

青木地域

地域の人口はほぼ横ばいで推移すると見込まれます。SKIPシティを中心に産業技術や文化の集積と発信を行うとともに、行政・教育の中核機能を高め、水辺空間に親しめ快適で活気のあるまちをめざします。

新郷地域

地域の人口はやや減少すると見込まれます。貴重な緑地や歴史の資源を大切にしながら、治水・遊水機能を含めた都市基盤の整備を推進するとともに、住宅と工場が共生する安全で快適なまちをめざします。

横曽根地域

地域の人口は10地域でもっとも増加すると見込まれます。西川口駅を中心としてまちの活性化を図るとともに、荒川の河川空間を活かして自然とふれ合う場やスポーツを楽しむ場を創出するなど、にぎわいと安らぎがあり、安全・安心なまちをめざします。

中央地域

地域の人口は増加傾向が続くと見込まれます。ものづくり産業の伝統と宿場町としての歴史を大切にしつつ、中距離電車の停車によるさらなる拠点性の高まりを踏まえ、経済や文化芸術を中心とする都市機能の一層の充実を図り、利便性が高く活気あふれるまちをめざします。

鳩ヶ谷地域

地域の人口はやや減少すると見込まれます。日光御成道の宿場町としての歴史文化資源や利便性の高い交通ネットワークを活かし、にぎわいの創出や隣接地域との連携を踏まえた住みやすく訪れたい魅力あるまちをめざします。

南平地域

地域の人口はほぼ横ばいで推移すると見込まれます。住宅と工場が共生し、地域交通の利便性を高めつつ、荒川や芝川などの地域の資源を活かし、うるおいと活力を創出する安全で快適な住み良いまちをめざします。

